

電話詐欺防ぐグッズ

岩国署に1500個を寄贈

日刊いぬに 2015.10.15



「全国地域安全運動」(20日まで)期間中の13日、岩国錦ライオンズクラブ(沖中勝二会長)は、うそ電話

詐欺の被害防止を目的に作成した防犯グッズ1500個を岩国署に寄贈した。グッズは電話機に取り付け

け、受話器を取るとメッセージ

「お金を返すので名義を貸してほしい」との特殊詐欺の窓口とともに「こんな電話はうそ電話詐欺です!」の忠告文が記載されている。

贈呈式は同署署長室で行われ、沖谷会長らライオンズのメンバー4人が出席した。沖谷会長は、「起き上がりポップを」見ていただき、うそ電話詐欺に注意してもらえれば」とグッズの成果に期待を寄せた。

近藤署長は「うそ電話詐欺の被害を1件での防ぐよう活用させていただきます」と謝辞を述べた。同署は寄贈を受けたグッズを管内の独居高齢者宅を中心に配り、署員が巡回連絡などで訪れた宅ではグッズを電話機に張り付けることにしている。

同署管内では8月末現在、7件のうそ電話詐欺を認知、被害総額が約5412万円に上り、被害総額は県下でワースト1となっている。

近藤署長(左)に防犯グッズを手渡す沖谷会長(左から2番目)らクラブの会員

